

様式第4号（第11項関係）

審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和5年度第2回西脇市まちづくり推進審議会
開催日時	令和5年10月26日（木）午後7時00分～9時00分
開催場所	西脇市役所 委員会室
出席委員の氏名 又は人数	平田富士男会長、藤原悟副会長、松尾憲子委員、藤井琢己委員、松山秀樹委員、森川元良委員、井上浩代委員、藤井裕子委員、野村直樹委員、松本美千代委員、藤原俊子委員、李貫一委員 計12名
欠席委員の氏名 又は人数	清水賢一委員、濱崎美千代委員
出席職員の職・氏名 又は人数	都市経営部長 渡辺和樹、まちづくり課長 藤原広三、まちづくり課課長補佐 二若直也、まちづくり課職員 鳥田 朱里 計4名
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	1名
議題又は協議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1・2 開会、市民憲章朗唱 3 あいさつ 4 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度の審議会等の開催状況について (2) 市民提案型まちづくり事業の審査結果について (3) 地区まちづくり実践補助事業の審査結果について 5 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域自治協議会事業一括交付金の分配方法の見直しについて (2) 市民主体のまちづくりに関する啓発方法について 6 その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 今後の予定について 7 閉会
会議の記録（概要）	
発言者	発言内容等
	<ol style="list-style-type: none"> 1・2 開会、市民憲章朗唱 3 会長あいさつ
	<ol style="list-style-type: none"> 4 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度の審議会等の開催状況について

	<p>資料1「令和4年度に開催された審議会等の開催状況等一覧表」に基づき、事務局から説明</p> <p>(2) 市民提案型まちづくり事業の審査結果について</p> <p>(3) 地区まちづくり実践補助事業の審査結果について</p> <p>資料2「西脇市市民提案型まちづくり事業企画書の審査結果について」及び資料3「西脇市地区まちづくり実践補助事業の審査結果について」に基づき、西脇市まちづくり推進審議会審査部会長から説明</p>												
事務局	<p>5 協議事項</p> <p>(1) 地域自治協議会事業一括交付金の分配方法の見直しについて</p> <p>資料4に基づき、事務局から説明</p> <p>※一括交付金分配方法改正案</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>現状</th> <th>改正案</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総枠</td> <td>市民税を基に算出</td> <td>市民税を基に算出</td> </tr> <tr> <td>均等割</td> <td>2割</td> <td>5割</td> </tr> <tr> <td>人口割</td> <td>8割</td> <td>5割</td> </tr> </tbody> </table> <p>分配方法見直しの方向性や、自治協議会の活動の充実に向けて、委員の方からご意見をお願いしたい。</p>	区分	現状	改正案	総枠	市民税を基に算出	市民税を基に算出	均等割	2割	5割	人口割	8割	5割
区分	現状	改正案											
総枠	市民税を基に算出	市民税を基に算出											
均等割	2割	5割											
人口割	8割	5割											
委員長	<p>現状の積算方法では、人口規模が少ない地域が活動しづらいのではと思うので、人口の多い地区についても、現状の予算を下回ることはないよう予算確保ができるのであれば、改正案には賛成する。</p>												
会長	<p>人口の少ない地域にも、活動継続のため一定の配慮が必要である。交付金の率等の詳細は、事務局で検討いただくようお願いする。</p>												
事務局	<p>(2) 市民主体のまちづくりに関する啓発方法について</p> <p>前回の審議会で、現行の「参画と協働のガイドライン」を基本として、改正内容を検討し、ガイドラインとは別に、市民向けの新しいツールが必要であるとの意見をいただいた。</p> <p>今後の審議会では、有用な情報をいかに市民へ届けるかという方策について、協議いただくことになった。本日は資料5に記載の項目ごとにアイデアをグループワークで出していただき、今後の審議会で具体的な啓発内容等の検討ができればと考えている。</p>												
委員長	<p>グループワークに関して、委員の方から意見等はあるか。</p> <p>市で地域自治協議会の連絡会を行われているが、その中で後継者や広報方法の課題など、本グループワークのヒントに</p>												

事務局	<p>なり得る情報があれば御教示いただきたい。</p> <p>多くの地区で、後継者不足や育成（リーダー、役員等）を課題に挙げられおり、若い世代をいかにして取り込むかなど新たな視点が必要になってくる。実際に活動に参加してみたら、喜びや楽しさを共有でき、その経験が新たな活動や次世代への継承につながれると考えるが、そのきっかけづくりや啓発を工夫しなければならない。</p> <p>また、自治協議会が未設立の地区では、前述に加え、地区のまちづくりに危機感や課題意識を抱いていないことが課題として挙げられる。これは、市街地などでは病院やスーパーなどが比較的近く、現状の生活に困っていない方が多いことが挙げられる。しかし、今後の社会情勢（少子高齢化、人口減少）を鑑み、「本当に地域課題がないのか」を考えていただく機会を持っていただきたいと考えている。</p>
委員長	<p>自身が所属する自治協議会でも、後継者不足の課題を抱えている。自治協議会が未設立の地区でも、設立はできても、後継者を心配し躊躇されていることもあるのでは。</p>
会長	<p>「まちづくりに取り組んでいる、或いはまちづくり活動に関心の高い委員の皆さん」の目線から、以下の項目について、意見を出してほしい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1 まちづくり活動に関心を持っていない人々にどんなことを伝えたいか</p> <p>(1) わがまちの将来に向けての心配</p> <p>(2) 取り組んでみれば・参加してみれば楽しいこと</p> <p>(3) できそうなこと、上手いやり方</p> <p>2 そのようなことを伝えるために、市にどのようなことをしてほしいか</p> </div> <p style="text-align: center;">グループワークを実施</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1 班（藤原悟、松尾憲子、野村直樹、藤井裕子）委員</p> <p>1 (1) ・人とのつながりの希薄化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動に参加する人が少ない ・孤立（子育てや高齢者） ・モラルの低下 ・働く場の減少 ・情報の伝え方、誰が聞いても分かるように ・スーパーがなくなる ・交通手段の少なさ ・集いの場の確保が困難になっている ・子どもが少ない </div>

- ・人口減少
- ・SNSの使い方が分からない、使いこなせない
- ・他人に興味がない
- (2) ・自分が気になっていることが意外とまちづくりに繋がる
 - ・参加者にインセンティブを与える
 - ・市と連携する（例：健幸ポイント）
 - ・活動拠点の確保
 - ・参加（企画）する楽しさを体験してもらう
 - ・地域のイベントの市全域への紹介
- (3) ・活動にインセプトを持たせる
 - ・参加賞を出す
 - ・活動への簡単な窓口（例：お手伝い参加）
- 2 ・活動に対する理解→他団体とのつながりを紹介→活動状況の紹介
 - ・役員だけでなく、一人ひとりの声掛け
 - ・各団体への声掛け、協力
 - ・イベントを行う
 - ・他地域の事業等の情報を得られる場所づくり
 - ・各地区の行事を広報してほしい
 - ・情報の一元化をしてほしい
 - ・情報発信
 - ・地域の情報の提供
 - ・定着するまでの財政支援

2班（李貫一、藤井琢己、井上浩代、松本美千代）委員

- 1 (1) ・人口減少、活力低下、高齢化
 - ・一人暮らしになったら
 - ・移動手段
 - ・ご近所付き合い
 - ・孤立
 - ・情報の伝達
 - ・先が見えない不安
 - ・大きいグループは行きにくい、参加しづらい
- (2) ・愛、勇気
 - ・とりあえず行ってみよう
 - ・「ありがとう」と言われる体験
 - ・交流の場
 - ・人の意見をよく聞く
- (3) ・サークルの立上げ
 - ・隣保が大切
 - ・若者の意見
 - ・知り合いを誘い合う

- ・種をまく
- ・子どもの参加
- ・声掛け、クチコミ
- 2
- ・場所づくり
- ・無料の集う場所（会議室など）
- ・人材募集、人材バンク
- ・現状の共有、宣伝
- ・防災無線の有効利用、他地域のことを知る
- ・地域資源の明示
- ・気づきのセミナー
- ・若者の集まるイベント
- ・子どもにクラシックを聞かせる
- ・資金
- ・団体同士のマッチング、仲介
- ・行事の日程調整
- ・地域の行事 一年間の予定表の交換、共有
- ・職員に播州織を身に着けてほしい
- ・職員は西脇市が好きなのか
- ・イベント等に積極的な参加、協力を

3班（松山秀樹、森川元良、藤原俊子）委員

- 1 (1) ・後継者不足
 - ・忙しくて未来を考えられない
 - ・初動に体力がいる
 - ・仕事がどうなるか
 - ・地域課題の明確化
 - ・若者流出、実家をどうするか
 - ・子どもを何よりも大切にしたい取組を
 - ・課題はデータで示す
- (2) ・普段の生活に還ってくる
 - ・参加者に達成する喜びを
 - ・自分が動けば周りも動く
 - ・しんどいが、その分達成感がある
 - ・意見が通ったときの喜び
 - ・楽しさを中心に
 - ・互いにとってWin-Winな取組を
- (3) ・イベント等の流し方
 - ・「こうでなければ」という考えを捨てる
 - ・先の明るさを読める取組を
 - ・等身大で良い
 - ・違う意見に耳を傾ける
 - ・違う意見を潰さない
 - ・自分の考えが全てではないと知っておく
 - ・ポジティブな人と一緒に

<p>会 長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小さなことから取り組んでみる ・ 抱え込まない、一人でやらない ・ 失敗しても良い <p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども達の憩いの場 ・ 先生たちの教育 ・ 授業で議員体験 ・ サイバー大学 ・ 教育の場 ・ 事業の紹介（交付金の確保） ・ 企業誘致 ・ 若者の働く場所 ・ 企業が外に出ないように ・ 空き地の使い道 ・ 他県の人が集まりやすいように（イベント等で） ・ スポーツの大きな大会を行う ・ データ、資料、アイデアの提供 ・ 研修の充実 ・ 予算の確保 ・ 講師の紹介 ・ 協働での取組 ・ 若い議員を育てる機関 ・ 議員定数を減らして報酬アップ ・ まちのコンセプトを明確化、見直し <p>今回の議論では、2種類のアイデアが出た。 一つは、市民に向けて、「自分たちの手でまちづくりをやってみよう」ということを訴えかけていくようなコンテンツが導き出された。伝える手法として、パンフレットにするか動画にするかなどは未定であるが、次回の審議会では、今回出されたコンテンツを基に、パンフレットの素案のような形で事務局に整理してもらおうと思う。 次に、行政が取り組む必要がある施策、あるいは、既に実施しているが市民に伝わっていないことが意見として出された。 今後、行政として新しい施策を立ち上げるのか、現施策を改良するのか検討していただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>6 その他 今後の予定について説明</p>
<p>問合せ先</p>	<p>都市経営部まちづくり課</p>